自主防災組織育成事業　調査票

本調査票は、審査基準に基づき団体の体制や活動内容を実績等の確認を行い、評価するための基礎資料です。各項目について詳しく御記入願います。

１　基本情報

団体名	
代表者名	
所在地	
構成世帯数又は人数	

２　調査内容

(1)　過去３年間（令和６年度～８年度）における県事業の活用状況・予定

・岩手県地域防災サポーター派遣制度
・岩手県自主防災組織リーダー研修会
・防災士スキルアップ研修
・自主防災組織実態調査回答（今年度のみ）

該当するものに〇を記載の上、参加人数を記載願います。

・岩手県地域防災サポーター派遣制度　　活用している（R〇年度）/していない

・岩手県自主防災組織リーダー研修会　　参加している/参加していない（R〇：〇人）

（例）R6：３人、R7：５人などのように記載

・防災士スキルアップ研修　　参加している/参加していない（R〇：〇人）

・自主防災組織実態調査回答　　回答した/回答していない

(2)　過去３年間（令和６年度～８年度）における防災訓練の実施状況・予定

（記入例）

令和８年度　総合防災訓練（避難訓練、初期消火訓練、安否確認訓練）を実施　参加者 80 名
令和７年度　避難所運営訓練及び炊き出し訓練を実施　参加者 65 名
令和６年度　総合防災訓練（避難訓練、情報伝達訓練）を実施　参加者 70 名

過去３年間において毎年防災訓練を実施している。

(3)　**今後３年間（令和９年度～11 年度）における防災訓練の実施計画**（訓練の実施内容や申請する資機材の活用予定などを記載願います。）

（記入例）

当自主防災組織では、今後３年間、毎年１回以上の防災訓練を実施する。

令和９年度は避難訓練・初期消火訓練、令和 10 年度は避難所運営訓練、令和 11 年度は要配慮者避難支援訓練を予定している。

コミュニティ助成事業で整備する発電機、投光器及び無線機は訓練で活用し、災害時の運用方法の習熟を図る。

発電機は電源確保訓練、投光器は夜間訓練、無線機は情報伝達訓練に使用する。

(4)　**地区防災計画への取組状況**

（記入例）

当自主防災組織では、令和 9 年度中の地区防災計画完成を目標として作成作業を進めている。

これまでに地域の危険箇所の把握及び避難行動に関する検討を実施しており、今後は地域住民との協議を行いながら計画を取りまとめる予定である。